



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フュートレック
コード番号 2468 URL <http://www.fuetrek.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤木 英幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 西田 明弘

TEL 06-4806-3112

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,785	21.4	274	—	269	—	168	—
28年3月期第2四半期	1,471	113.9	△105	—	△115	—	△115	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 178百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △102百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	18.09	18.06
28年3月期第2四半期	△12.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	5,438	3,493	60.3
28年3月期	5,450	3,318	57.4

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,281百万円 28年3月期 3,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	△4.3	120	△74.4	110	△75.9	50	△83.9	5.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	9,459,200 株	28年3月期	9,459,200 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	146,460 株	28年3月期	146,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	9,312,780 株	28年3月期2Q	9,312,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用や所得が堅調に推移する中、個人消費は底打ちしつつあり、緩やかな回復基調となっております。また、日本国内のインバウンド市場については、訪日外国人1人当たり消費額の減少等、昨年までのような急拡大局面は一段落したものの、アジア新興国を中心に今後も引き続き拡大が見込まれております。

このような環境のなか、当社グループは、「Re-Built(リ・ビルト)の総括」として、新たな柱となる事業の創出と推進に努めてまいりました。

音声認識事業においては、継続して自動車関連業界及びインバウンド市場関連等へ、事業の収益化に向けた活動を積極的に展開いたしました。具体的な成果として、当第2四半期連結累計期間に、音声認識技術のライセンス供与にかかる売上が計上されました。また新しい事業への取り組みとして、NTTアイティ株式会社との業務提携により、相互が保有する音声認識関連製品を組み合わせた新たな製品やサービスの開発を進めております。

翻訳事業においては、株式会社メディア総合研究所の人手による翻訳事業の拡販とともに、「機械翻訳による言語バリアフリーの実現」を目指して、株式会社みらい翻訳との協業や、当社の連結子会社である株式会社ATR-Trekが総務省により採択された「多言語音声翻訳の利活用に関する開発・実証」への共同提案等、翻訳事業の拡大に努めてまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、音声翻訳関連の売上の一部が機械翻訳として計上されました。

インバウンド市場関連においては、インバウンド商材の拡充を目的として、平成28年8月1日付で株式会社アドホックの事業を会社分割(簡易吸収分割)により当社が事業承継いたしました。今後、承継を受けた多言語対応の観光用自動ガイドシステムや、ペン型音声案内デバイスの拡販や自社技術との融合による機能向上を目指した開発を進め、インバウンド市場での収益増を図ります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は1,785百万円(前年同四半期比21.4%増)、営業利益は274百万円(前年同四半期は営業損失105百万円)、経常利益は269百万円(前年同四半期は経常損失115百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は168百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失115百万円)となりました。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	第16期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	第17期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
ライセンス事業	721	985	263
翻訳事業	412	435	22
その他事業	336	364	27
売上高合計	1,471	1,785	314

① ライセンス事業(音声認識・UIソリューション事業分野、CRMソリューション事業分野 他)

売上高は985百万円(前年同四半期比36.6%増)となりました。

音声認識・UIソリューション事業分野の売上高は869百万円(同52.4%増)となりました。前第2四半期連結累計期間と比較し、主に音声認識技術のライセンス供与にかかる売上が計上されたことによるものであります。

CRMソリューション事業分野の売上高は90百万円(同15.4%減)となりました。前第2四半期連結累計期間と比較し、主にカスタマイズ業務及びサポート業務による収入が減少したことによるものであります。

② 翻訳事業(翻訳事業分野)

売上高は435百万円(同5.5%増)となりました。前第2四半期連結累計期間と比較し、主に音声翻訳関連の売上の一部が機械翻訳として計上されたことによるものであります。

③ その他事業(基盤事業分野、書き起こし事業分野、IT事業分野、映像事業分野、国際事業分野 他)

売上高は364百万円(同8.2%増)となりました。前第2四半期連結累計期間と比較し、基盤事業分野、IT事業分野及び国際事業分野においては受託業務の増加により売上高は増加しましたが、映像事業分野では受託業務の減少により売上高は減少いたしました。

また、その他の増加要因として、吸収分割により承継した株式会社アドホックの事業に係る売上高が、当第2四半期連結会計期間より計上されております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ12百万円減少し、5,438百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が4,046百万円(前連結会計年度末比168百万円減)、固定資産が1,392百万円(同156百万円増)であります。

流動資産の主な変動要因は、現金及び預金の減少319百万円、受取手形及び売掛金の増加37百万円、仕掛品の増加86百万円によるものであり、固定資産の主な変動要因は、のれんの増加67百万円、投資有価証券の増加96百万円によるものであります。

負債の部では、流動負債が940百万円(同175百万円減)、固定負債が1,004百万円(同10百万円減)であります。

流動負債の主な変動要因は、買掛金の減少87百万円、賞与引当金の増加36百万円、その他流動負債の減少137百万円によるものであり、固定負債の主な変動要因は、繰延税金負債の減少8百万円によるものであります。

純資産の部では、利益剰余金の増加168百万円等により3,493百万円(同174百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の実績は、音声認識技術のライセンス供与にかかる売上が計上されたことや仕掛品の増加等の要因により、平成28年5月10日公表の第2四半期連結累計期間の連結業績予想に比して、増加となりました。

通期の連結業績につきましては、予想を修正しておりませんが、当第3四半期以降の業績予想や仕掛品の影響等を踏まえ現在精査中であり、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,530,819	3,211,138
受取手形及び売掛金	440,020	477,112
有価証券	100,000	100,000
仕掛品	39,255	125,867
その他	106,931	134,487
貸倒引当金	△2,762	△2,528
流動資産合計	4,214,265	4,046,077
固定資産		
有形固定資産	75,388	78,619
無形固定資産		
のれん	205,485	272,898
ソフトウェア	263,120	253,198
無形固定資産合計	468,605	526,097
投資その他の資産		
投資有価証券	605,244	701,486
その他	111,582	86,551
貸倒引当金	△24,238	△37
投資その他の資産合計	692,588	788,001
固定資産合計	1,236,582	1,392,717
資産合計	5,450,847	5,438,795
負債の部		
流動負債		
買掛金	201,445	113,535
1年内返済予定の長期借入金	510,008	507,490
未払法人税等	75,830	90,750
賞与引当金	45,786	82,394
その他	283,792	146,761
流動負債合計	1,116,864	940,931
固定負債		
長期借入金	1,002,486	1,000,000
繰延税金負債	12,739	4,478
固定負債合計	1,015,225	1,004,478
負債合計	2,132,089	1,945,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	903,938	903,938
利益剰余金	1,550,564	1,718,990
自己株式	△69,963	△70,014
株主資本合計	3,101,109	3,269,483
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,020	11,733
その他の包括利益累計額合計	30,020	11,733
新株予約権	8,978	13,843
非支配株主持分	178,649	198,324
純資産合計	3,318,758	3,493,385
負債純資産合計	5,450,847	5,438,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	1,471,338	1,785,579
売上原価	870,949	802,246
売上総利益	600,388	983,332
販売費及び一般管理費	705,943	708,980
営業利益又は営業損失(△)	△105,554	274,352
営業外収益		
受取利息	1,352	247
受取配当金	3,936	3,190
助成金収入	1,984	—
貸倒引当金戻入額	—	1,832
業務受託料	—	1,800
その他	1,385	935
営業外収益合計	8,658	8,005
営業外費用		
支払利息	4,609	4,135
為替差損	—	1,523
投資事業組合運用損	1,348	2,910
持分法による投資損失	11,986	3,646
その他	592	250
営業外費用合計	18,536	12,467
経常利益又は経常損失(△)	△115,433	269,890
特別利益		
新株予約権戻入益	30,902	—
特別利益合計	30,902	—
特別損失		
事務所移転費用	1,155	—
特別損失合計	1,155	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△85,685	269,890
法人税、住民税及び事業税	3,480	87,871
法人税等調整額	570	△14,429
法人税等合計	4,051	73,441
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△89,737	196,448
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,053	28,023
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△115,790	168,425

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△89,737	196,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,126	△18,287
その他の包括利益合計	△13,126	△18,287
四半期包括利益	△102,863	178,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△128,903	150,138
非支配株主に係る四半期包括利益	26,040	28,022

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。